

行ってこーわい 会ってこーわい

「栗田蒼空さん」

クルーから信頼されるコックスに
「がんばっていきまっしょい」

No. 139

松山東高等学校1年生の栗田蒼空さん=北黒田=。同校ボート部に所属する栗田さんは、昨年の10月に今治市で行われた「全国高校選抜四国予選兼県新人大会」、1月に熊本県で行われた「ウインターズカップ」に出場し、5人1組の舵手付きクォドルプルという種目でそれぞれ優勝を果たしました。3月には静岡県で行われる全国大会に出場する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため残念ながら中止に。それでも気持ちを切り替え、すでに次の大会を見据えています。

栗田さんが務めるポジションは「コックス」。漕手4人に指示を出したり、ボートを真っすぐに保つようかじ取りをしたりする重要な役割で、同校ボート部では2年に1人選出されます。3年生の引退後、1年生でコックスに選ばれた栗田さんですが、漕手4人は全員先輩。「自分が1番ボートに詳しくないと指示出しながらできない」と奮起し、練習後に動画を勉強をしたり引退した先輩にアドバイスをもらったりするなど努力を重ねてきました。そのかいあって、ボート競技の勝敗を分けるラストスパートのタイミングも的確に声掛けできるように。「全員で力を合わせ、勝ったときの喜びを共有できるボート競技は最高です」とほほ笑みます。

今後の目標を、「まずは春にある総体や朝日レガッタで優勝すること」と目を輝かせる栗田さん。「先輩たちの引退後は自分たちが主体になるので、チームを引っ張っていけるよう頑張りたい」と意気込んでいます。



1 練習着を着てほほ笑む栗田さん
2 舵手付きクォドルプル。右端がコックスの栗田さん

※学年は、取材時のものです。

▼編集後記

中学校の卒業式。同級生や後輩たちとの別れを惜しむ姿を取材した2日後に私も広報担当から卒業することが決まりました。書くことが苦手な私の悩みの種の一つ、この「編集後記」とも今回お別れです。そんな悩みのこの記事も、「読んでるよ」と言われるとうれしいもので、今となっては少し寂しい気も。

短い間ではありましたが、取材に快く協力いただいた町民の皆さん、本当にありがとうございました。（松本）

3月以降に取材を予定していた行事が、新型コロナウイルス感染症予防のため軒並み中止に。楽しみにしていた大会が中止になって涙をのんだ人も多いことでしょう。でもこんな非常事態だからこそ、今自分にできることを考え、成長するチャンスなのかも。

春は出会いと別れの季節。松本さんと離れるのは寂しいですが、私も広報担当3年目。取材先での新たな出会いを楽しみに、何か成長できるよう頑張ります。（酒井）

Proud! Japan

※日本文化の発展を支援しよう

広告

新しいことはじめない? 2020 テニス キッズ・ジュニア

春の子ども体験教室 参加者募集中

プロコーチライセンスを持つ指導者が、基礎からしっかり教えます!

コア・フリード テニスチーム

小学生 中学生

090-9777-8611 (7ホ)

初心者歓迎

広告

サンタ

アイスクリーム

アイス サンタ

広告

松前土建株式会社

正社員 募集中!

(TEL)089-984-1019

松前土建株式会社 求人